

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日                      2 0 0 2 年 1 2 月 1 3 日  
Date of Application:

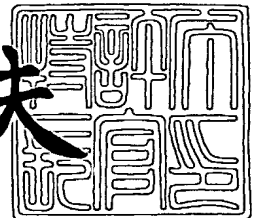
出 願 番 号                      特 願 2 0 0 2 - 3 6 1 9 9 8  
Application Number:  
[ST. 10/C] :                      [ J P 2 0 0 2 - 3 6 1 9 9 8 ]

出      願      人                      富士写真フイルム株式会社  
Applicant(s):

2 0 0 3 年    9 月 1 9 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号    出証特 2 0 0 3 - 3 0 7 7 5 3 3

【書類名】 特許願

【整理番号】 FJ2002-357

【提出日】 平成14年12月13日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G09G 5/22

【発明者】

【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 岡村 広紀

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100083116

【弁理士】

【氏名又は名称】 松浦 憲三

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012678

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9801416

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ファイル転送プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 一のフォルダに記録されたファイルを 1 つ以上選択し、他のフォルダへの保存処理が指示されると、前記選択されたファイルにファイル名を付して前記他のフォルダに記録する機能をコンピュータに実現させるファイル転送プログラムであって、

前記他のフォルダ内のファイルのファイル名と前記選択されたファイルに付されたファイル名とを比較する機能と、

前記他のフォルダ内に、前記選択されたファイルに付されたファイル名と同一名のファイルがある場合には、前記選択されたファイルのサムネイル画像及びファイル情報と、前記他のフォルダ内の同一名のファイルのサムネイル画像及びファイル情報とを、表示装置の画面にともに並べて表示させる機能と、

をコンピュータに実現させることを特徴とするファイル転送プログラム。

【請求項 2】 前記選択されたファイル及び前記他のフォルダ内の同一名のファイルのうち、少なくとも 1 つが動画のファイルであった場合に、前記表示装置のサムネイル画像には動画の先頭フレームを表示させる機能と、

前記サムネイル画像を操作することにより動画の再生を実行させる機能と、

をコンピュータに実現させる請求項 1 に記載のファイル転送プログラム。

【請求項 3】 一のフォルダに記録された音声ファイルを 1 つ以上選択し、他のフォルダへの保存処理が指示されると、前記選択されたファイルにファイル名を付して前記他のフォルダに記録する機能をコンピュータに実現させるファイル転送プログラムであって、

前記選択されたファイル及び前記他のフォルダ内のファイルのうちの音声ファイルに対して、これらが音声ファイルである旨のアイコン画像を表示装置の画面に表示させる機能と、

前記アイコン画像を操作することにより音声の再生を実行させる機能と、

をコンピュータに実現させることを特徴とするファイル転送プログラム。

【発明の詳細な説明】

**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明はファイル転送プログラムに係り、特に、マルチメディアファイルをパソコンで扱う処理に際し、ファイル転送の操作性の向上がなされたファイル転送プログラムに関する。

**【0002】****【従来の技術】**

マルチメディアファイルをパソコンで扱う処理に際し、あるフォルダに記録されたファイルを選択し、他のフォルダへの保存処理が指示されると、この選択されたファイルにファイル名を付して他のフォルダに記録することは一般的に行われている。

**【0003】**

また、デジタルカメラの普及によって、ユーザが手軽にデジタル画像データを作成できるようになった。このデジタルカメラで撮影した画像データは、パソコンのハードディスクなどの大容量記憶装置にコピーして蓄積、保存することが一般に行われている。このような場合にも、画像データのファイルを転送する操作が必要となる。この種の技術に関しては、各種の提案がなされている（たとえば、特許文献1参照）。

**【0004】****【特許文献1】**

特開平11-234615号公報

**【0005】****【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、上記従来のファイル転送方法においては、ファイルを上書きする等の際に以下に説明するような不具合を生じ易い。すなわち、一のフォルダに記録されたファイルを選択し、他のフォルダへ保存する際に、この選択されたファイルにファイル名を付して記録するのが一般的であるが、他のフォルダ内に同一名のファイルがあった場合、両者を並存させるべきか、ファイルを上書きすべきか、又は、保存を中止すべきかの判断に迷うことが多い。

**【0006】**

この際、他のフォルダ内の同一名のファイルが保存しようとするファイルと別内容のものであった場合には、保存しようとするファイルのファイル名を異なったものとすべきである。一方、他のフォルダ内の同一名のファイルが保存しようとするファイルの古い内容のもの（旧バージョン）等であった場合には、ファイルを上書きすべきである。

**【0007】**

ところが、ファイル転送の際の表示画面では、個々のファイル内容が一見して理解できないのが一般的である。

**【0008】**

このような問題に対処すべく、ファイル転送の際にファイル固有のコードを頼りにファイルの同一性を判断し、転送するか又はスキップするかを決定するシステムの提案がなされている（特許文献1参照）。しかし、固有のコードを持つファイルというのは特別なフォーマットのファイルであり、一般のファイルには固有のコードが付されないため、この発明の用途は限定的である。

**【0009】**

本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、マルチメディアファイルをパソコン等で扱う処理に際し、ファイルを上書きすべきか否かが一見して判断しやすい、ファイル転送の操作性の向上がなされたファイル転送プログラムを提供することを目的としている。

**【0010】****【課題を解決するための手段】**

前記目的を達成するために、本発明は、一のフォルダに記録されたファイルを1つ以上選択し、他のフォルダへの保存処理が指示されると、前記選択されたファイルにファイル名を付して前記他のフォルダに記録する機能をコンピュータに実現させるファイル転送プログラムであって、前記他のフォルダ内のファイルのファイル名と前記選択されたファイルに付されたファイル名とを比較する機能と、前記他のフォルダ内に、前記選択されたファイルに付されたファイル名と同一名のファイルがある場合には、前記選択されたファイルのサムネイル画像及びフ

ファイル情報と、前記他のフォルダ内の同一名のファイルのサムネイル画像及びファイル情報とを、表示装置の画面にともに並べて表示させる機能と、をコンピュータに実現させることを特徴とするファイル転送プログラムを提供する。

#### 【0011】

本発明によれば、他のフォルダ内に、選択されたファイルに付されたファイル名と同一名のファイルがある場合には、選択されたファイルのサムネイル画像及びファイル情報と、他のフォルダ内の同一名のファイルのサムネイル画像及びファイル情報とを、表示装置の画面にともに並べて表示させる。そして、ファイルを上書きするか否かの判断を促す。

#### 【0012】

この際に、たとえば、静止画像のファイルであれば、サムネイル画像にフォルダ内の静止画像が縮小して表示される。したがって、両者のサムネイル画像を比較することにより、ファイルを上書きすべきか否かが一見して判断でき、ファイル転送の操作性が向上する。

#### 【0013】

ここで、「ファイルに付されるファイル名」とは、拡張子付きの名称（たとえば、「DSCF0001.JPG」等）を意味するものである。

#### 【0014】

本発明において、前記選択されたファイル及び前記他のフォルダ内の同一名のファイルのうち、少なくとも1つが動画のファイルであった場合に、前記表示装置のサムネイル画像には動画の先頭フレームを表示させる機能と、前記サムネイル画像を操作することにより動画の再生を実行させる機能と、をコンピュータに実現させることが好ましい。

#### 【0015】

2以上のファイルのサムネイル画像及びファイル情報をともに並べて表示させる際に、動画の先頭フレームが表示されれば、ファイルの内容が一見して判断でき、ファイル転送の操作性が向上するからである。更に、サムネイル画像を操作（たとえば、クリック操作）することにより、動画の再生が実行されれば、ファイルの内容がより一層明確になり、ファイル転送の操作性が向上するからである。

。

**【0016】**

また、本発明は、一のフォルダに記録された音声ファイルを1つ以上選択し、他のフォルダへの保存処理が指示されると、前記選択されたファイルにファイル名を付して前記他のフォルダに記録する機能をコンピュータに実現させるファイル転送プログラムであって、前記選択されたファイル及び前記他のフォルダ内のファイルのうちの音声ファイルに対して、これらが音声ファイルである旨のアイコン画像を表示装置の画面に表示させる機能と、前記アイコン画像を操作することにより音声の再生を実行させる機能と、をコンピュータに実現させることを特徴とするファイル転送プログラムを提供する。

**【0017】**

本発明によれば、視覚で内容の判断ができてにくい音声ファイルであっても、音声ファイルである旨のアイコン画像が表示される。そして、アイコン画像を操作（たとえば、クリック操作）することにより、音声の再生が実行される。これにより、ファイルを上書きすべきか否かが容易に判断でき、ファイル転送の操作性が向上する。

**【0018】****【発明の実施の形態】**

以下添付図面に従って本発明に係るファイル転送プログラムの好ましい実施の形態について詳説する。図1は本発明に係るファイル転送プログラムを有するパーソナル・コンピュータ（以下、「パソコン」という）のハードウェア構成例を示すブロック図である。

**【0019】**

図1に示されるようにパソコンは、主として各構成要素の動作を制御する中央処理装置（CPU）10と、装置の制御プログラムが格納されたり、プログラム実行時の作業領域となる主メモリ12と、パソコンのオペレーティングシステム（OS）、本発明に係るアルバム作成プログラム、各種のアプリケーションソフト、ユーザの画像等が格納されるハードディスク装置14、CD-ROMからの読み込みやCD-Rへの読み書きが可能なCD-R/RW装置16と、表示用デ

ータを一時記憶する表示メモリ 18 と、この表示メモリ 18 からの画像データ、文字データ等により画像や文字等を表示する CRT モニタや液晶モニタ等のモニタ装置 20 と、キーボード 22 と、位置入力装置としてのマウス 24 と、マウス 24 の状態を検出してモニタ装置 20 上のマウスポインタの位置やマウス 24 の状態等の信号を CPU 10 に出力するマウスコントローラ 26 と、上記各構成要素を接続するバス 28 とから構成される。

#### 【0020】

なお、上記構成のパソコンは、ハードディスク装置 14 に格納されるファイル転送プログラムを除いて周知のものであるため、各構成要素の詳細な説明については省略する。

#### 【0021】

次に、本発明に係るファイル転送プログラムの概略について説明する。このファイル転送プログラムは、ユーザがハードディスク装置 14 上の下位層に画像ファイル等が格納されているフォルダを指定すると、そのフォルダ以下の階層すべてを CD-R 等への記録に適した CD アルバム形式等の各種形式にアレンジし、これをハードディスク装置 14 の他の領域及び／又は CD-R に書き込むようにパソコンを動作させるものである。以下の例は、デジタルカメラの記録媒体に記録された N 個のファイルをパソコンのハードディスク装置 14 に転送する場合について説明される。

#### 【0022】

本発明に係るファイル転送プログラムの概略フローについて、図 2 に示されるフローチャートに従って説明する。パソコンを立ち上げ、ビューアソフトを起動すると、ハードディスク装置 14 内のあるフォルダが指定され（この場合は、100\_FUJI）、そのフォルダに格納されている画像ファイルの画像の一覧がモニタ装置 20 の画面に表示される。図 3 は、この状態を示しており、DSCF0001.JPG、DSCF0002.JPG のように 2 個の静止画ファイルと、DSCF0003.AVI のように 1 個の動画ファイルがサムネイル表示されている（以上、「開始」状態のステップ S0）。

#### 【0023】



次に、図3に示される画面において、転送すべきファイルを選択する（ステップS2）。この操作は、通常の場合、マウス操作でポインタを選択すべきファイルのサムネイル画像に重ねてマウスを右クリックする。

#### 【0024】

通常のビューアソフトでは、これによりポップアップメニュー画面（図示略）が表示される。このポップアップメニュー画面において、転送コマンドを選択してクリックする（ステップS4）。これにより、モニタ装置20の画面に図4に示されるような転送先指定用のウィンド画面が表示され、転送先フォルダの選択が促される（ステップS6）。これに従って、転送先フォルダを選択する。この操作は、通常の場合、マウス操作でポインタにより選択すべきファイルを指定するとともに、「コピー」スイッチをクリックする。

#### 【0025】

その後、プログラム内のカウンタが $N=1$ とされ（ステップS8）、次いで、転送先のフォルダ内に転送すべきN番目（この場合、1番目）のファイルと同名のファイルがあるか否かが判断される（ステップS10）。N番目のファイルと同名のファイルがない（No）場合には、N番目のファイルを転送し（ステップS12）、ステップS20に移る。

#### 【0026】

一方、ステップS10において、N番目のファイルと同名のファイルがある（Yes）場合には、転送元のファイル及び転送先の同名のファイルを表示装置の画面にともに並べてサムネイル表示させる（ステップS14）。図5は、この状態の画面を示すものであり、転送先のフォルダ内にN番目のファイルと同名のファイルがある旨、及び、上書きするか否かの表示もなされている。また、それぞれのサムネイル画像の脇にファイル情報も併せて表示されている。

#### 【0027】

図5は、転送元のファイル及び転送先の同名のファイルのいずれもが静止画のファイルである例が示されているが、いずれか又は双方が動画のファイルである場合には、この動画のファイルのサムネイル画像には動画の先頭フレームが表示される。更に、サムネイル画像を操作（たとえば、クリック操作）することによ

り、動画の再生が実行される。このような構成により、ファイルの内容が一見して判断できる。このように、サムネイル画像の操作により、動画の再生が実行されれば、ファイルの内容がより一層明確になる。

#### 【0028】

また、図5において、いずれか又は双方が音声ファイルである場合には、表示画面には、図6に示されるような音声ファイルである旨のアイコン画像が表示される。更に、アイコン画像を操作（たとえば、クリック操作）することにより、音声の再生が実行される。このような構成により、視覚で内容の判断が出来にくい音声ファイルであっても、音声ファイルである旨が明瞭になる。そして、アイコン画像の操作により、音声の再生が実行されれば、ファイルの内容がより一層明確になる。

#### 【0029】

なお、図6に示されるアイコン画像は、マイクロフォンの外形を示したものであるが、これ以外のいずれの形状のものでも採用できる。

#### 【0030】

以上のステップS14において、得られた各情報を元に、ファイルを上書きするか否かの判断が促される（ステップS16）。ファイルの上書きが不要（No）な場合には、ステップS20に移る。

#### 【0031】

一方、ファイルの上書きが必要（Yes）な場合には、転送先の同名のファイルを転送元のファイルで上書きする（ステップS18）。

#### 【0032】

次のステップであるステップS20において、ステップS12、ステップS16及びステップS18からの流れが合流する。このステップS20において、転送すべきN個の全てのファイルの転送が終了したか否かが判断される。全てのファイルの転送が終了した（Yes）場合には、プログラムが終了される（ステップS999）。

#### 【0033】

一方、全てのファイルの転送が終了していない（No）場合には、プログラム

内のカウンタがインクリメント、すなわち  $N = N + 1$  とされ（ステップ S 2 2）、ステップ S 1 0 に戻る。そして、同一のループが繰り返され、ステップ S 2 0 において、転送すべき N 個の全てのファイルの転送が終了した（Y e s）後、プログラムが終了される（ステップ S 9 9 9）。

#### 【0034】

以上、本発明に係るファイル転送プログラムの実施形態の例について説明したが、本発明は上記実施形態の例に限定されるものではなく、各種の態様が採り得る。

#### 【0035】

たとえば、本実施形態の例では、ハードウェア構成例としてパソコンが採用されているが、これ以外のもの、たとえば、デジタルカメラであっても同様に適用できる。

#### 【0036】

また、表示画面、サムネイル画像等の例についても、本実施形態のものは一例であり、これ以外の態様のものも各種採用できる。

#### 【0037】

##### 【発明の効果】

以上説明したように、本発明の請求項 1 によれば、他のフォルダ内に、選択されたファイルに付されたファイル名と同一名のファイルがある場合には、選択されたファイルのサムネイル画像及びファイル情報と、他のフォルダ内の同一名のファイルのサムネイル画像及びファイル情報とを、表示装置の画面にともに並べて表示させる。そして、ファイルを上書きするか否かの判断を促す。

#### 【0038】

この際に、たとえば、静止画像のファイルであれば、サムネイル画像にフォルダ内の静止画像が縮小して表示される。したがって、両者のサムネイル画像を比較することにより、ファイルを上書きすべきか否かが一見して判断でき、ファイル転送の操作性が向上する。

#### 【0039】

本発明の請求項 3 によれば、視覚で内容の判断が出来にくい音声ファイルであ

っても、音声ファイルである旨のアイコン画像が表示される。そして、アイコン画像を操作（たとえば、クリック操作）することにより、音声の再生が実行される。これにより、ファイルを上書きすべきか否かが容易に判断でき、ファイル転送の操作性が向上する。

#### 【図面の簡単な説明】

##### 【図 1】

本発明に係るファイル転送プログラムを有するパソコンのハードウェア構成例を示すブロック図

##### 【図 2】

本発明に係るファイル転送プログラムのフローチャート

##### 【図 3】

画像ファイルの画像の一覧がモニタ装置の画面に表示された状態を示す図

##### 【図 4】

転送先指定用のウィンド画面が表示された状態を示す図

##### 【図 5】

転送元のファイル及び転送先の同名のファイルが表示装置の画面に並べてサムネイル表示された状態を示す図

##### 【図 6】

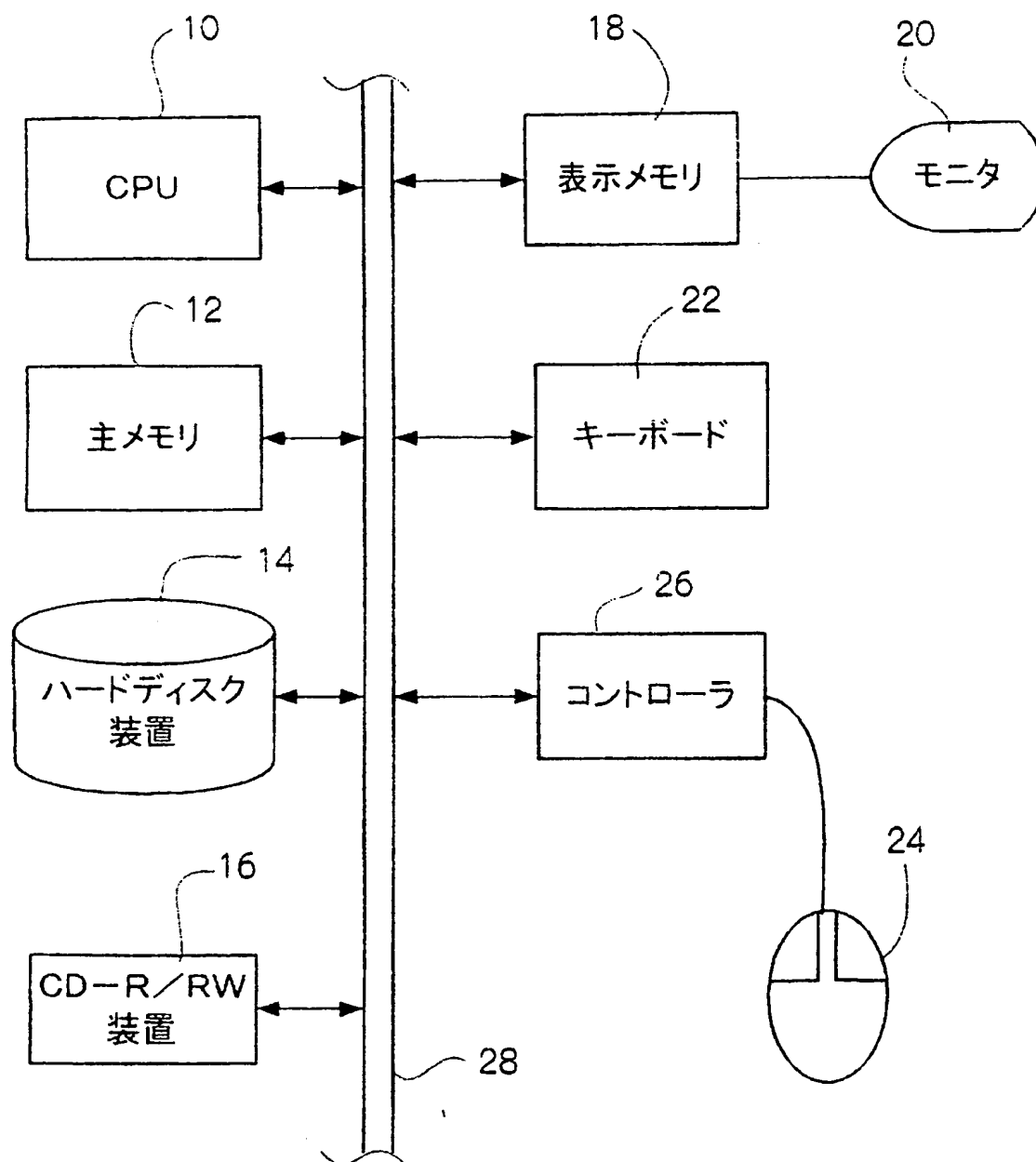
音声ファイルである旨のアイコン画像の例を示す図

#### 【符号の説明】

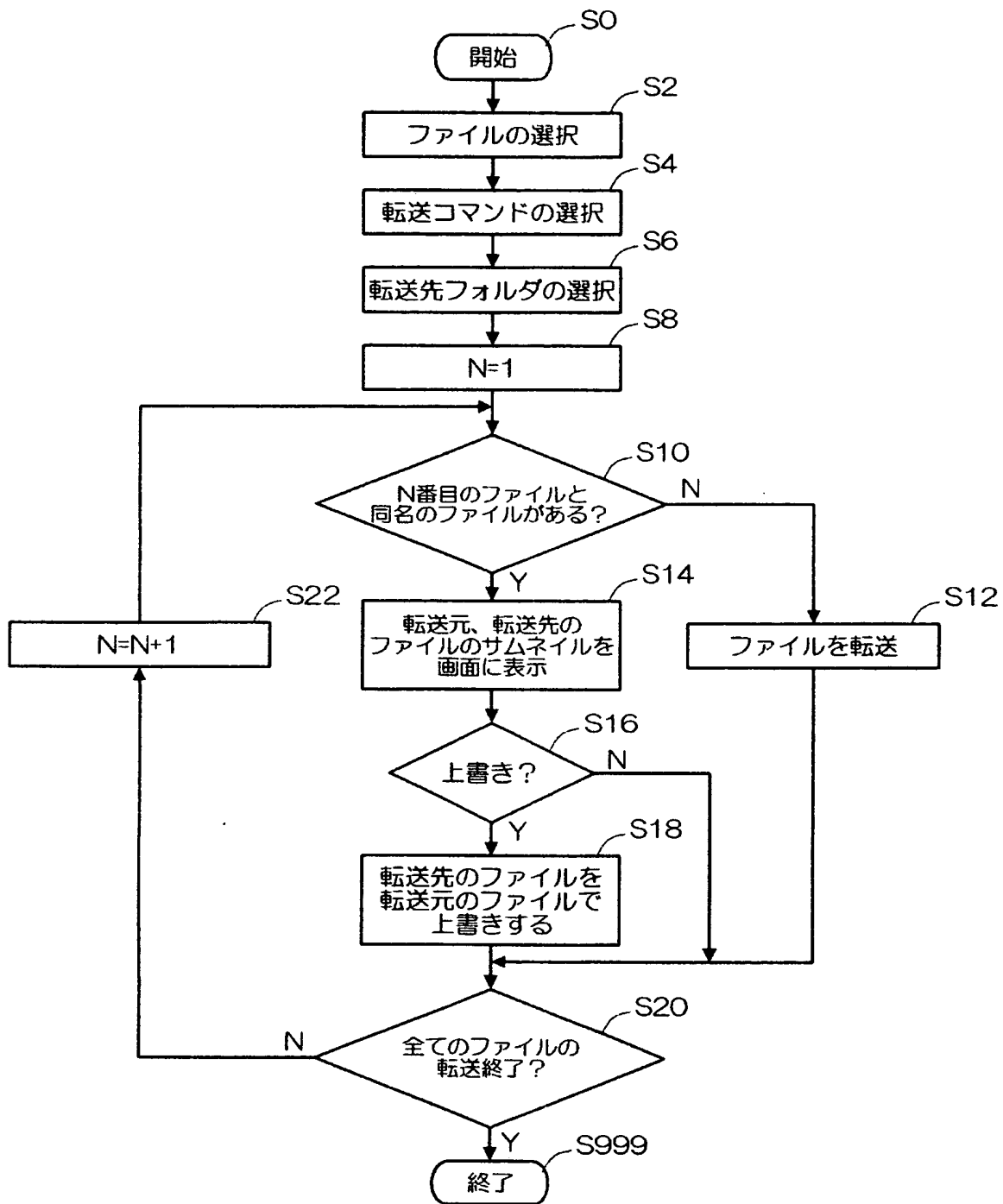
10…中央処理装置（CPU）、12…主メモリ、14…ハードディスク装置、16…CD-R/RW装置、20…モニタ装置、22…キーボード、24…マウス

【書類名】 図面

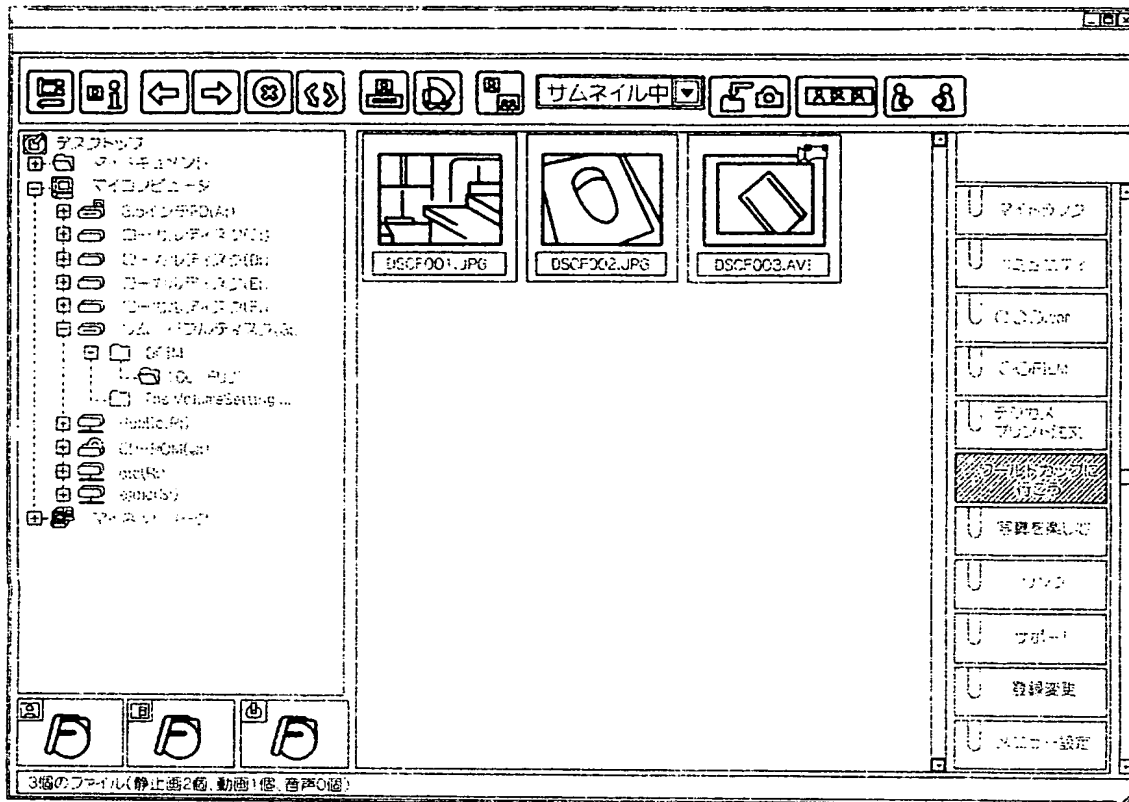
【図 1】



【図 2】

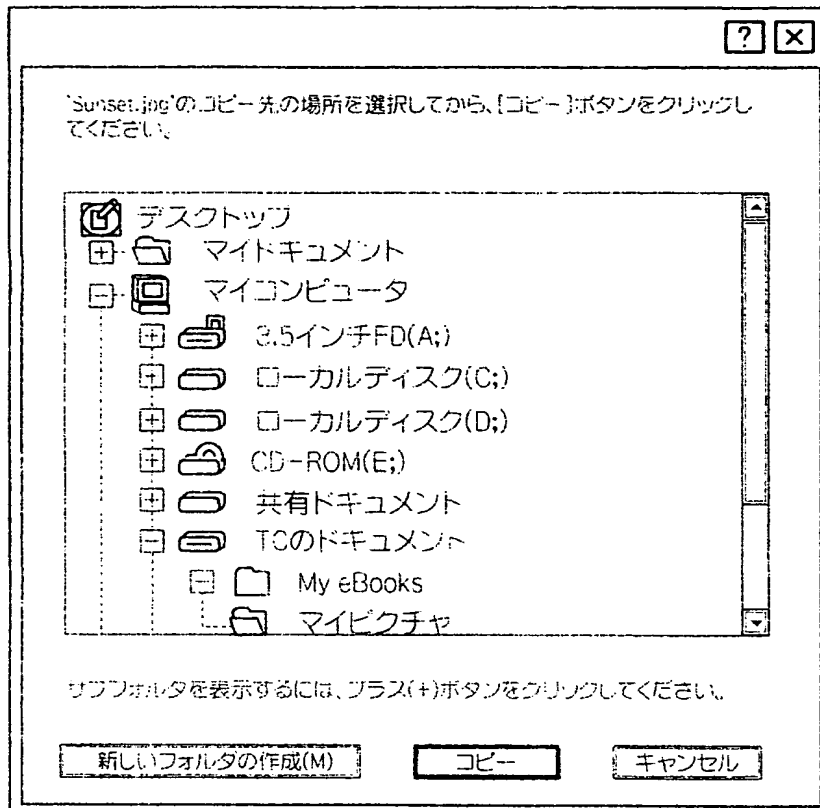


【図 3】

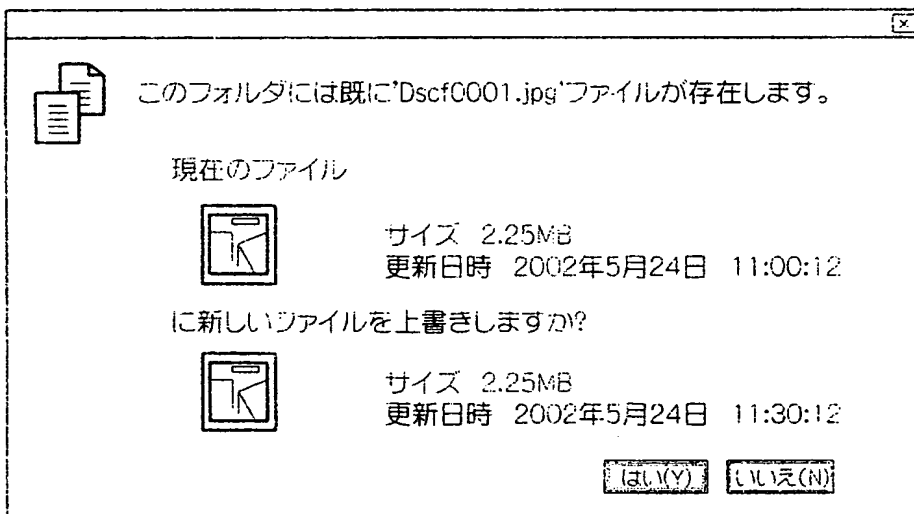


**BEST AVAILABLE COPY**

【図 4】



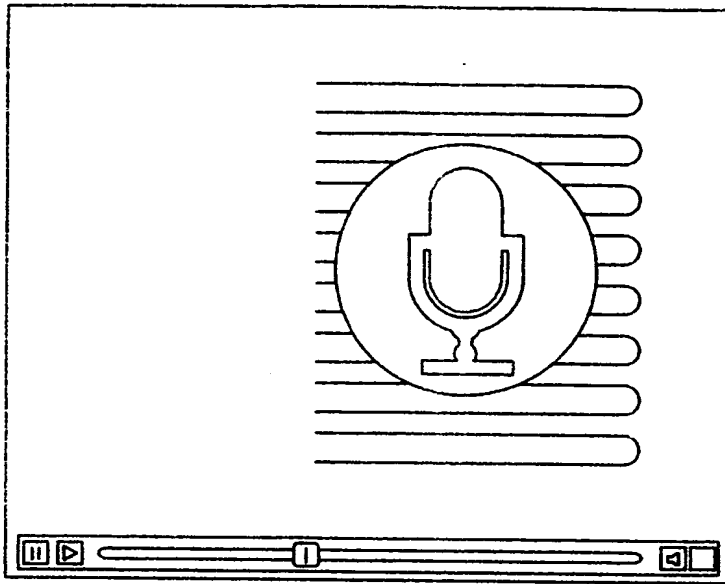
【図 5】



BEST AVAILABLE COPY



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ファイルを上書きすべきか否かが一見して判断しやすい、ファイル転送の操作性の向上がなされたファイル転送プログラムを提供する。

【解決手段】 一のフォルダに記録されたファイルを1つ以上選択し、他のフォルダへの保存処理が指示されると、選択されたファイルにファイル名を付して他のフォルダに記録する機能をコンピュータに実現させるファイル転送プログラム。他のフォルダ内のファイルのファイル名と選択されたファイルに付されたファイル名とを比較する機能と、他のフォルダ内に、選択されたファイルに付されたファイル名と同一名のファイルがある場合には、選択されたファイルのサムネイル画像及びファイル情報と、他の記録媒体内の同一名のファイルのサムネイル画像及びファイル情報とを、表示装置の画面にともに並べて表示させる機能と、をコンピュータに実現させる。

【選択図】 図5

特願 2 0 0 2 - 3 6 1 9 9 8

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[ 0 0 0 0 0 5 2 0 1 ]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 1 4 日

[変更理由]

新規登録

住 所

神奈川県南足柄市中沼 2 1 0 番地

氏 名

富士写真フイルム株式会社